

**市岡高校開放講座**  
日本語日常会話講座  
**●教室=大阪府立市岡高校●**

**●金曜日クラス**  
午後7時～8時30分

**●イベントクラス**  
土曜日、日曜日などに計画

**●授業料無料**

# Ichiooka

会報

1997/10  
第7号

大阪府立市岡高校開放講座の後援団体=市岡国際教育協会会報  
発行人／八木正一／編集／広報担当  
大阪市港区市岡元町2-12-12 TEL:06-582-0348

現在、15ヶ国のおよそ150名の学習者が日本語会話を学んでいます

市岡高校開放講座は大阪府教育委員会の認可する日本語会話を中心とする開放講座です。目的は、在日外国人に日本語の日常会話などの指導を主としてボランティアと学習者の交流を通して言葉の支援することです。

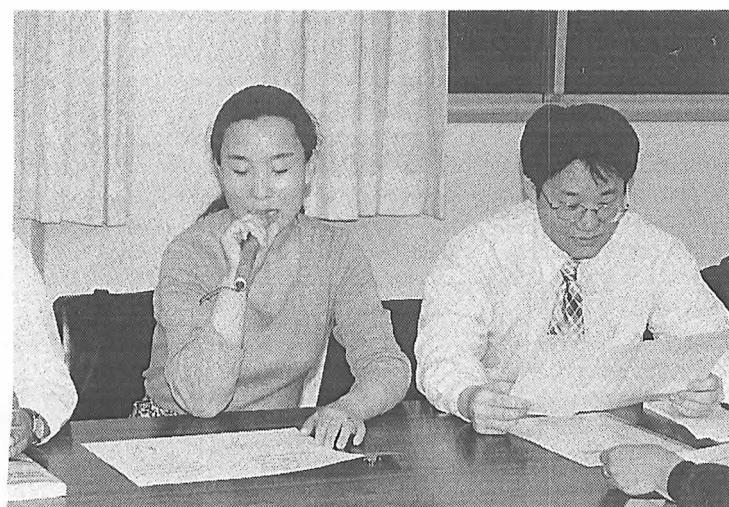
1996年10月25日、大阪府議会文教委員会で当協会の副理事長、河原府議会議員がこの開放講座の運営をどう考えているかの質問に、教育委員会は「地元に密着した市岡高校開放講座に深い理解……」を示しました。

この教室で教え始めて、五ヵ月を迎えるとしています。ここでは私が先生であります。同時に生徒でもありました。最初に教えた人は中国の女性の方です。彼女は日本に来て間もなく、当然のことながら日本語は全くできませんでした。私も同時に中国語が全くできなく何をどの様に教えていいかわからず、しばし途方にくれていました。とにかく、身振り手振りで必死に教え、心中では「はやく時間が来てくれ」と叫んでいました。授業前に準備しておいた教材や今まで勉強してきた教授法は、共通のコミュニケーション言語を有しない私達の中ではもはや無意味な存在になりつつありました。

何回かの授業を終え、少し慣れてきたころはあることに気がつきました。それは私の授業が面白くないことです。薄々気がついていましたが、目新らしい教授法を勉強したせいか、ある意味で教科書を絶対だと信じ教科書通りの授業を押し進めていました。逆に教科書通りの授業しか教えられないのが現状であったと思います。先程述べた、「ある意味で」教科書が絶対だと考

私が市岡高校のこの日本語教室を知るようになったのは一九九七年の正月でした。このことは必然ではなくむしろ幾つかの偶然が重なっていました。というのは、この教室の存在は朝日新聞の正月版で知ったのですが、私はたまたま東京の下宿から大阪の実家に帰省しているときでした。もし東京で正月を迎えていたなら、たとえ朝日新聞を読んでいたとしても、この教室の記事は東京版に掲載されていないことから、私とこの教室との出会いはもつと遅れていたに違いないでしょう。次の偶然は、私自身が市岡高校の出身であることも手伝ってかこの教室がとても身近に感じられ、日本語を教えるというボランティアに参加しやすい状況を作ってくれました。そして、最後の偶然とは私が日本語教師もしくはそのアシスタントとしてアメリカに派遣されることになつており、また勉強している日本語教授法を使用する場を探しているときでした。まさにこれらの偶然が市岡に導いてくれたのです。

九月の新学期から、ICHIOKAのボランティアの方で、海外で新たに日本語を教えることになった方が数名いらっしゃいます。今回は、吉川先生と柏原盛さんにICHIOKAでのボランティアの感想と新天地での決意などを寄稿していただきまし



今年から始めたボランティアを通じて日本語を客観的に見たり、日本語の起源なども知りたいと、色々な好奇心がムクムクと育つってきてます。そして総務担当ということで今まで機会をのがしてきたパソコンにも、触れることができそうです。役割担当に限らずパソコンが好きな方、私のようにやつたことないけど興味のある方、どなたでもお手伝いして下さいね。とつても助かります。そして市岡に来られる学習者、ボランティアみんなに新しい何かが育つといいですね。

役割分担紹介（総務の巻）

えた理由は、学習者がこの教授法をふまえた勉強の仕方をしなければ、日本語はうまくならない。いや、日本語の上達いかんはわれわれがこの教授法をいかに活用するかにかかっていると自分に言い聞かせていました。その結果が教科書のコピー授業でした。今では、教科書の呪縛から離れて自分にとつて面白い授業が学習者にとつても面白いのではないかと思うようになりました。そう思うと心が幾分か軽くなり、私が授業をしながら「ある意味での」いい加減さで色々な教授の実験を試みる余裕が出来つつあるのではないかと、そしてそのいい加減さが少し苦痛と思つていた教材準備を楽しいものにと導いていくように思えます。

学習者のほとんどが私より人生経験が豊富で、機知に富み、一生懸命いまを生きている方ばかりです。ボランティアの方もしかしりです。私はこれらの仲間に出会えたことを誇りに思い、アメリカのオレゴン州で日本語を教えに旅立ちます。また、同じ派遣の仲間であり、この教室に六月以降参加してくれた森本一樹さんはニューヨーク州の大学で教えることになっています。この私達をどうぞ応援してやつてください。皆さんの応援が私達に勇気を与え続けると確信して筆を置きます。

P.S. アメリカでの様子、不思議なこと面白いこと、必ず近況をお知らせしますので、楽しみに待つてくださいませ♪♪

# 日本語修行の旅（市岡から瀋陽へ）

小島千恵子  
二〇〇八年オリンピック国内候補都市が、大  
阪市に決定されました。二十一世紀に向け、大  
阪市は国際交流を進める上で、大きな役割を課  
せられたと思います。そこで、私たちの市岡高  
校日本語教室の存在も、ますます意義があり重  
要且つ大きく広がつて行くことと思います。国  
際交流を進める上で一番大切なことは何かを考  
え、それはお互いをよく理解し合い誠意を尽く  
して行くことと認識し、日本語教室の活動に取  
り組んでいきたいと思いますので、今後ともよ  
ろしくお願ひ致します。

ごみ箱

●ホワイトボード等事務用品

株式会社国際印刷出版研究所

ア寄付ありがとうございました

今年の1月から参加させていただいています。いろんな国の人達とお話しすることで新しい発見をしたり、知らなかつたことを教えていただいたり与えることよりも与えられることの方が多い私ですが、私と話をしたことで何かを得たと感じていただける様に頑張つていきたいと思つています。私たちみんながスムーズに活動できるように、総務として少しずつ取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。

市岡高校開放講座を後援する  
市岡国際教育協会の運営にご協力下さい

市岡国際教育協会の運営にご協力を！

今後、市岡高校開放講座を支える優秀なボランティアを、今後約100人ぐらいの規模に増やし、学習者が安心して高いレベルの教育を受けられるようにしたいと思います。その為に必要な財源を確保しなければなりません。

頂いた会費は、ボランティア研修会の補助や各々の国家庭料理教室の材料費、学習者とボランティアの懇親会等への補助、またイベント開催への補助、会費制作費、事務通信費などに使わせて頂きます。よろしくお願ひ申し上げます。

(会計・八尋愛子)  
やひろ

年間会費は1口2,000円です。  
市岡国際教育協会  
郵便振替口座番号 00900-4=95748